Ⅱ　結果の詳細

１　教科に関する調査

（１）小学校国語

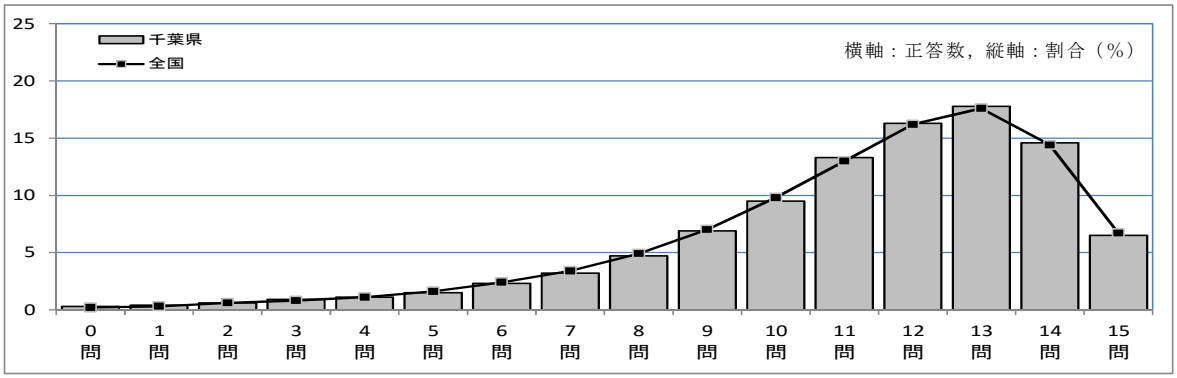
①　全体的な結果

ア　正答数の分布

＊「Ａ～Ｄ層」について
・各層は全国（公立）の児童を正答数の大きい順に整列させ，人数比率により 25%刻みで４つの層分けを行っている。上位から１番目をＡ層，２番目をＢ層，３番目をＣ層，４番目をＤ層と呼称する。正答数が同じ場合は，上位の層に含むため，25%を大きく超える場合がある。
・千葉県の人数比率は，全国のＡ～Ｄ層を基準に示してある。

【国語Ａ】

平均正答率は，全国と同程度である。正答数の分布は，全国とほぼ同じである。

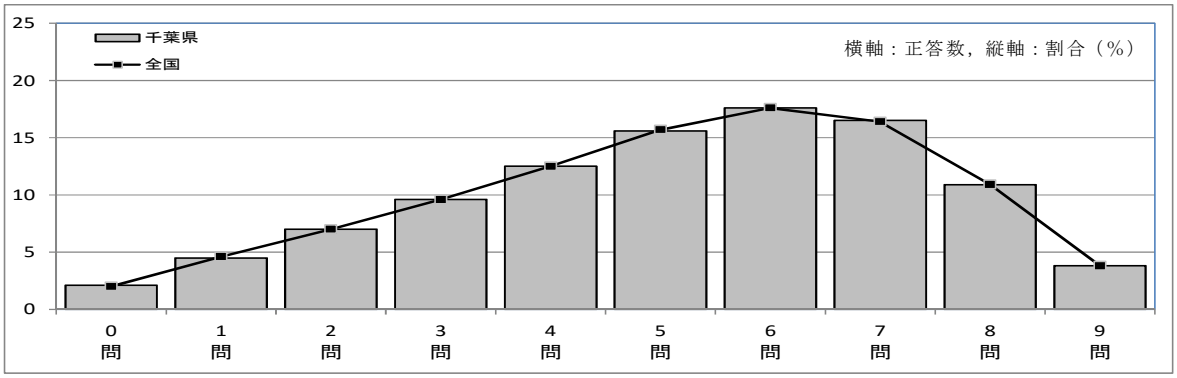


	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
千葉県(公立)	11.2問／15問	75 %	12.0	2.8
全 国(公立)	11.2問／15問	74.8 %	12.0	2.8

	＊Ｄ層	＊Ｃ層	＊Ｂ層	＊Ａ層
	0～9問	10～11問	12問	13～15問
千葉県(公立)	22.0 %	22.8 %	16.3 %	38.9 %
全 国(公立)	22.4 %	22.8 %	16.2 %	38.6 %

【国語Ｂ】

平均正答率は，全国と同程度である。正答数の分布は，全国とほぼ同じである。



	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
千葉県(公立)	5.2問／9問	57 %	5.0	2.2
全 国(公立)	5.2問／9問	57.5 %	5.0	2.2

	*Ｄ層	*Ｃ層	*Ｂ層	*Ａ層
	0～3問	4問	5～6問	7～9問
千葉県(公立)	23.2 %	12.5 %	33.2 %	31.2 %
全 国(公立)	23.2 %	12.5 %	33.3 %	31.0 %

イ　調査区分ごとに見た傾向（全国平均を 100 としたときの指数で示している）

知識／活用

「知識」は，全国と同程度であるが，昨年度をやや上回っている。「活用」は，全国と同程度である。

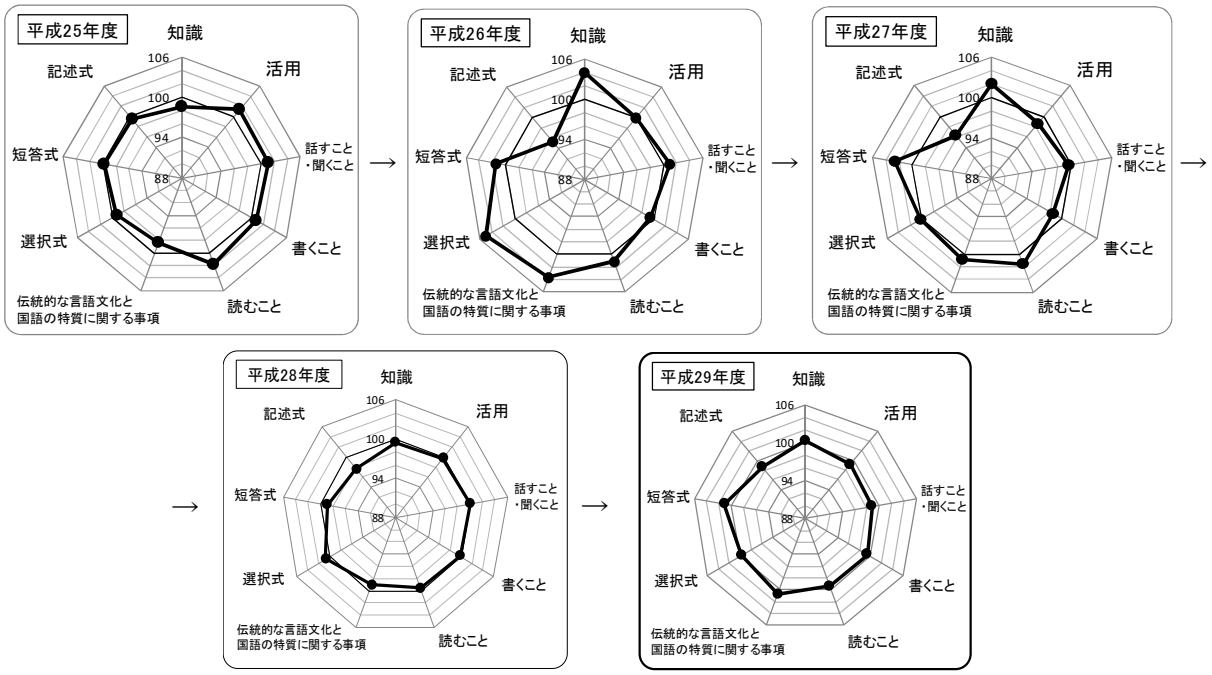
領　域　等

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は，昨年度と比較して上昇した。「話すこと・聞くこと」は全国をやや下回っている。

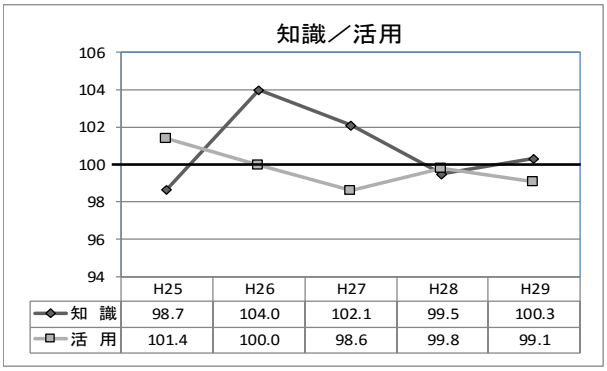
問 題 形 式

「短答式」は，全国をやや上回っている。「記述式」は，今年度も全国をやや下回ったが，昨年度に引き続き上昇傾向にある。

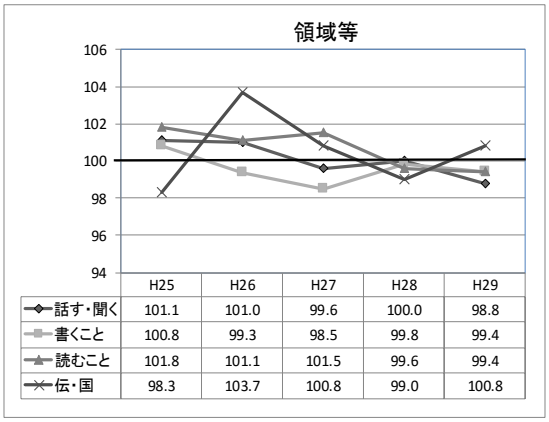
○チャートグラフ



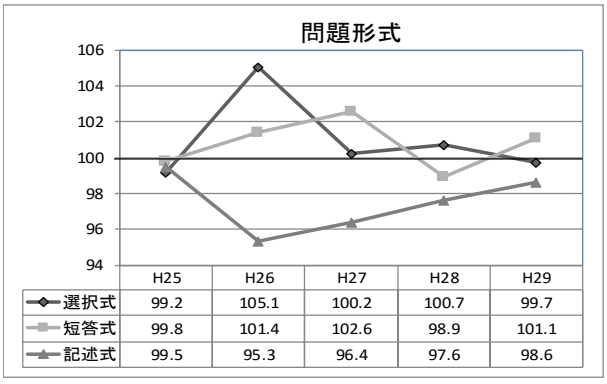
○経年変化グラフ



	H25	H26	H27	H28	H29
知　識	98.7	104.0	102.1	99.5	100.3
活　用	101.4	100.0	98.6	99.8	99.1



	H25	H26	H27	H28	H29
話す・聞く	101.1	101.0	99.6	100.0	98.8
書くこと	100.8	99.3	98.5	99.8	99.4
読むこと	101.8	101.1	101.5	99.6	99.4
伝・国	98.3	103.7	100.8	99.0	100.8



	H25	H26	H27	H28	H29
選択式	99.2	105.1	100.2	100.7	99.7
短答式	99.8	101.4	102.6	98.9	101.1
記述式	99.5	95.3	96.4	97.6	98.6

② 各設問及び質問紙調査に見られる結果と特徴

（凡例）

〔出題の趣旨〕
「課題改善」　過去の調査結果からの課題を踏まえた問題
「同一」　過去の調査と同一の問題
〔領域等〕学習指導要領の領域等
「話」　話すこと・聞くこと　「書」　書くこと　「読」　読むこと
「伝」　伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
〔評価の観点〕
「関」　国語への関心・意欲・態度　「話」　話す・聞く能力
「書」　書く能力　「読」　読む能力
「言」　言語についての知識・理解・技能
〔問題形式〕
「選」　選択式　「短」　短答式　「記」　記述式
〔肯定的回答〕
「当てはまる，どちらかといえば当てはまる」など肯定的な選択肢を選択した割合の合計
〔昨年との差〕
千葉県の今年度（平成29年度）と昨年度（平成28年度）との差を示す

□ 全国を上回るもの
▨ 全国を下回るもの（課題あり）

△：全国との差３．０ポイント以上
▼：全国との差３．０ポイント以下

ア　各設問の結果

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率(%) 千葉県（公立）	正答率(%) 全国との差		無解答率(%) 千葉県（公立）	無解答率(%) 全国との差	
A	1	学級文集のタイトルを決める話合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する	互いの話を聞き，考えの共通点や相違点を整理しながら，進行に沿って話し合う		話	3 4	話	選	65.5	-3.7	▼	0.2	0.1	
	2一	お礼の気持ちを伝えるために，どのような内容を書いているのか，書かれている内容の説明として適切なものを選択する	目的や意図に応じ，内容の中心を明確にして，詳しく書く		書	5 6	書	選	80.4	0.7		0.3	0.2	
	2二	手紙の後付けに必要な，日付，署名，宛て名のそれぞれの位置について，適切なものを選択する	手紙の構成を理解し，後付けを書く	課題改善	書	5 6	書	選	39.4	-2.1		0.3	0.0	
				(H24)					24.6	1.1		1.9	-0.2	
	3	学校新聞を書くために，「時の記念日」についての【資料】から，小野さんと今村さんが中心に読むとよい段落をそれぞれ選択する	目的に応じて，文章の中から必要な情報を見付けて読む		読	3 4	読	選	74.2	-0.2		0.5	0.0	
	4一	俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する	俳句の情景を捉える		読・伝	56・34	読・言	選	76.2	-3.2	▼	0.5	0.0	
	4二	グループの話合いを通して見付けた俳句のよさとして適切なものを選択する			読・伝	56・34	読・言	選	58.7	1.7		0.8	0.1	
	5ア	ことわざの使い方の例として適切なものを選択する（三度目の正直）	ことわざの意味を理解して，自分の表現に用いる		伝	3 4	言	選	90.6	0.6		0.9	0.1	
	5イ	ことわざの使い方の例として適切なものを選択する（もちはもち屋）			伝	3 4	言	選	84.4	0.8		1.2	0.2	
	6	【「外郎売」の一部】を音読して気が付いたことの説明として適切なものを選択する	古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読む		伝	5 6	言	選	73.0	1.9		1.8	0.2	

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)		
									千葉県（公立）	全国との差		千葉県（公立）	全国との差	
A	7(1)	漢字を書く （参加たいしょう）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く		伝	5 6	言	短	41.7	-0.3		11.4	0.8	
	7(2)	漢字を書く （４年生のきぼう者）			伝	5 6	言	短	79.2	-0.8		5.2	0.6	
	7(3)	漢字を読む （申しこみ期限）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む		伝	5 6	言	短	94.4	-0.1		3.5	0.5	
	7(4)	漢字を読む （事務室前）			伝	5 6	言	短	92.0	3.2	△	3.3	0.3	
	7(5)	漢字を書く （箱がおいてあります）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く		伝	5 6	言	短	79.7	2.9		11.6	-0.2	
	7(6)	漢字を読む （指示）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む		伝	5 6	言	短	94.5	0.0		3.4	0.5	
B	１一	スピーチの練習の様子を記録した動画を見る目的として，適切なものを選択する	動画を見る目的を捉えることを通して，目的や意図に応じ，適切な言葉遣いで話す		話	5 6	話	選	77.4	0.2		0.7	0.2	
	１二	グループの話合いの中で，石田さんたちは，スピーチメモを使うことのよさについてどのように考えているかについて書く	話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉える		話	5 6	話	短	70.6	1.4		4.5	0.7	
	１三	折り紙のみりょくについて，スピーチメモとグループの話合いで出された意見を基に書く	目的や意図に応じて，話の構成や内容を工夫し，場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す		話・書	56・56	関・話・書	記	47.3	-1.1		2.8	0.2	
	２一	【緑のカーテン作りへの協力のお願い】における文章の構成の工夫として当てはまるものを選択する	目的や意図に応じて，文章全体の構成を考える		書	5 6	書	選	71.9	1.1		0.8	0.1	
	２二	【友達の考え】と同じ考えの人を説得するために引用する文章を，【『緑のカーテンを始めよう』の一部】から選択する	目的や意図に応じ，引用して書く	課題改善	書	5 6	書	選	70.9	0.0		3.2	0.0	
				(H25)					25.7	-0.5		13.3	0.0	
	２三	「水やりに協力してくれる人をぼ集します」の[イ]に入る内容を，中学生からの【アドバイス】を基に書く	目的や意図に応じ，必要な内容を整理して書く	課題改善	書	5 6	関・書	記	32.1	-0.9		3.1	0.3	
				(H27)					32.4	-2.3		4.6	0.6	
	３一	「きつねの写真」を読み，登場人物の相互関係と場面についての描写を捉え，[Ａ]に当てはまる言葉として適切なものを選択する	登場人物の相互関係や心情，場面についての描写を捉える		読	5 6	読	選	74.8	-1.1		3.1	0.5	
	３二	「きつねの写真」を読んだあとの話合いにおけるア・イの発言の意図として，適切なものをそれぞれ選択する	自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える		読	5 6	読	選	28.1	0.1		3.6	0.4	
	３三	「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に，松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く	物語を読み，具体的な叙述を基に理由を明確にして，自分の考えをまとめる		書・読	56・56	関・書・読	記	43.9	0.2		21.8	2.4	

小学校・国語【課題の見られた設問の例】

	問題の概要・趣旨	正答率(%)	
		県	差
A１	考えの共通点や相違点を整理しながら進行に沿って話し合う	65.5	−3.7

※「差」は，全国平均との差を示している。

○正答は**3**であるが、**4**と解答している児童の割合は**十九．七%**である。対立する二つの意見について一方の理由だけに着目していた児童もいると考えられる。
○話合いの目的や到達点（一つのことにまとめる、合意を形成するなど）、進め方などを確認し、司会者や提案者、参加者などの役割に基づいて話合いを進める必要がある。
○話合いの際には、互いの考えの共通点や相違点を整理することや、相違点がどのような考えに基づいているかに着目することができるよう指導することが大切である。

1 野村さんの学級では、学級文集のタイトルを決めています。次は、学級文集のタイトルについて、各グループで話し合ったことを報告し合う【報告場面の一部】です。これをよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

【報告場面の一部】

石川　学級文集のタイトルについて、学級目標と同じように、明るくかがやくイメージの言葉にするところまで決まっています。それをふまえて、ここまで話し合ったことを中島さんのグループから順番に報告してください。

中島　私（わたし）のグループでは、まわりを照らすというイメージから、「太陽」がよいという意見にまとまりました。

西山　ぼくのグループでも、「太陽」がよいということになりました。理由は、太陽は明るいし、まわりをあたたかくすることもできるからです。

野村　私のグループも、明るいというイメージの「太陽」がよいという意見がありました。しかし、学級の一人一人がかがやくというイメージで「銀河」がよいという意見もありました。どちらもよい意見で、一つにまとまりませんでした。「太陽」だけでなく、「銀河」についても、ぜひみんなに考えてほしいです。

～（報告が続く）～

（問い）　野村さんは、どのようなことを報告していますか。その説明として最も適切なものを、次の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　話し合って一つにまとまったことを報告している。
2　一番多く出されたことを報告している。
3　学級全体で取り上げてほしいことを報告している。
4　同じ意見でも理由がちがうことを報告している。

	問題の概要・趣旨	正答率(%)	
		県	差
A２二	手紙の後付けの日付，署名，宛て名のそれぞれの位置について，適切なものを選択する	39.4	−2.1

○正答は**4**であるが、**3**と解答している児童の割合は**二七．七%**である。自分の名前を最後に書くと考えた児童もいると考えられる。
○前文、本文、末文、後付けといった手紙の構成や位置など、形式の指導にとどまらず、手紙の形式が持つ意味について指導することが大切である。また、書写との関連を図り、丁寧に手紙を書くことができるよう指導することが大切である。

2 松本さんは、昔の人々のくらしに興味をもち、学校の近くにある歴史資料館へ行きました。その後、お世話になった資料館の山村さんに、お礼の手紙を書いています。次の【山村さんへの手紙】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【山村さんへの手紙】

緑が美しい季節となりました。先日はおいそがしいところ、歴史資料館を案内していただき、ありがとうございました。実際に資料館を見学することで、昔の人々のくらしについて考えることができました。

特に心に残っているのは、「昔のくらし体験コーナー」です。せんたく板を使ってあらうと、せんたく機だけでは落ちないようなよごれがきれいに落ちたのでびっくりしました。また、よごれを落とすには時間がかかり、うでがいたくなることを実感しました。今は自動でせんたくができて、その間に他の仕事をすることもできます。でも、昔はせんたく板を使い、長い時間をかけてせんたくをしていたことが、今回の見学を通して分かりました。

昔のくらしのよいところや大変なところを知ることができ、もっと調べてみたくなりました。これからも、いろいろなことをわたしたちに教えてください。

ア　　イ　　ウ

二　松本さんは、手紙の後付け（手紙の最後に付ける内容）を書こうとしています。【山村さんへの手紙】の［ア］・［イ］・［ウ］の中に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、次の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

	ア	イ	ウ
1	自分の名前	日付	相手の名前
2	日付	相手の名前	自分の名前
3	相手の名前	日付	自分の名前
4	日付	自分の名前	相手の名前

A４一	問題の概要・趣旨	正答率(%)	
		県	差
	俳句の情景を捉える	76.2	−3.2

○正答は**3**であるが、**2**と解答している児童の割合は**十二．〇%**である。句中の「白しや」という語や、話合いの中の「白という月の色」という語に着目した児童もいると考えられる。
○児童が俳句を繰り返し音読しながら、言葉の美しい響きや俳句のリズムに着目して、情景や作者の思いなどについて交流することで、自分の想像を広げたり深めたりすることが大切である。

4 中西さんのグループでは、月の様子をよんだ俳句を調べ、その中から選んだ好きな俳句について、学級で紹介しようとしています。次は、選んだ俳句についてまとめた【**俳句カード**】と好きな俳句を紹介するための【**話し合いの様子**】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【**俳句カード**】

ア　雪とけてくりくりしたる月夜かな　小林一茶

〈調べた内容〉
季語…雪とけて　季節…春
この俳句は、「寒い冬が終わり、雪がとけ、春が来た。月もされいで明るくかがやく夜だなあ。」とよんでいるそうです。

イ　ひやひやと月も白しや秋の風　上島鬼貫

〈調べた内容〉
季語…秋の風　季節…秋
この俳句は、「秋のここちよい風がふく中では、月の色もひんやりと白っぽいなあ。」とよんでいるそうです。

【**話し合いの様子**】

北田　アの句は、「くりくりしたる」の「くりくり」がおもしろいね。声に出して読んでみるよ。（音読）
中西　リズムよく読めて、読むのが楽しくなるね。「くりくり」というのは、月の（　A　）を表しているのかな。春になったのがうれしいのかもしれない。
本間　イの句の「ひやひや」も「くりくり」と似ているね。どちらも声に出して読んで紹介すると、俳句のよさがもっと伝わりそうだよ。（音読）
「ひやひやと」を声に出して読むと、ひんやりした感じがますます伝わってくるような気がした。「白」という月の色も、なんだかひんやりとした感じがするね。
青木　そうか。ふいてくる風からも、見ている月からも、ひんやりした秋を感じているんだね。
中西　作者の伝えたかったことって、今、青木さんが言ったことなのかもしれないね。このことをみんなに紹介しよう。

一　中西さんは、【**話し合いの様子**】の（　A　）でどのように発言したでしょうか。（　A　）に入る内容として最も適切なものを、次の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　かすんでいる様子
2　まっ白い様子
3　まんまるい様子
4　欠けていく様子

B３三	問題の概要・趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
		県	差	県	差
	物語を読み，具体的な叙述を基に理由を明確にして，自分の考えをまとめる	43.9	0.2	21.8	+2.4

○叙述を基に根拠を述べることができなかった児童の割合は**十九．五%**である。また、叙述を基にせず想像したことだけを書いたり、物語を読んだ感想を書いたりするなどの解答をした児童の割合（類型9）は**八．一%**である。
○叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる際、その叙述を見付けるためには、場面の展開に沿って、登場人物の言動や心情の変化を捉えて読む必要がある。特に高学年では、象徴や暗示を含んだり、メッセージ等を強く意識させたりする表現や内容などに着目して読むことが大切である。また、一つの場面の叙述にとどまらず、複数の場面の叙述を相互に関係付けながら読むことができるようにすることも大切である。

【**話し合いの様子の一部**】

横山　あまんきみこさんの「きつねの写真」を読んで、心に残ったところはどこかな。
原　（③を示しながら）「あたりの木がいっせいにざざっとゆれてよびました」というところで［A］感じがすると思ったんだけど。
大岩　そうだね。［A］ことといえば、松ぞうじいさんとび吉はきつねだったのかな。
田中　二人を写したはずの写真にきつねが写っていたんだから、きっときつねだよ。
原　どこからそう思うの。
田中　（④を示しながら）「山野さんは、むかいあったふたりをぱちりとうつしました」とあるでしょ。
横山　そうだね。それに、（⑤を示しながら）「き、きつねの写真だ」と書いてあるしね。
原　二人を写したはずの写真にきつねが写っているってことは、やっぱりきつねなのかな。
大岩　きっときつねだよ。他にもきつねって考えられるところはあるかな。
田中　（②を示しながら）ここで、松ぞうじいさんが「ついてきなせえ」と言っているところがあるでしょ。私は、ここからもきつねってわかる気がするんだけれど、どうかな。
原　私もそう思う。松ぞうじいさんは、きつねだからきつねのすんでいた穴の場所を知っていて、案内できたんだよね。田中さんの言いたいことはそういうことでいいのかな。
田中　そうそう。
横山　（①を示しながら）ここにもあるよ。「人間にうちとられたり」と書いてあるけれど、もし、松ぞうじいさんが本当に人間なら、「人間に」とか「うちとられた」とは言わないと思うから、松ぞうじいさんはきつねだと考えることもできるね。
田中　そこからも、松ぞうじいさんがきつねだと考えられるね。他にも見つけたよ。

［B］

～（話し合いが続く）～

三　【**話し合いの様子の一部**】の中の［B］のところで、田中さんは、【**物語の一部**】の言葉や文を取り上げながら、松ぞうじいさんやとび吉がきつねであると考えたわけを話しています。**あなたが田中さんならどのようなわけを話しますか。**次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉
○［　　］の横山さんのように、【**物語の一部**】から言葉や文を取り上げて書くこと。
○　取り上げた言葉や文をもとに、どうして松ぞうじいさんやとび吉がきつねだと考えるのかを書くこと。
○　六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

③　成果と課題

全体的な状況	成果	◇ 知識（A問題），活用（B問題）ともに全国と同程度である。 ◇ 「国語の勉強が好き」な児童の割合が全国より高い状況が継続している。 ◇ 記述式の正答率は，全国を下回ったが，昨年度より改善され，上昇傾向にある。
	課題	◆ 手紙の後付けの正しい位置を問う出題は，全国を下回っている。今回と同様の趣旨で出題された平成２４年度調査より改善は見られたものの，引き続き課題が見られる。 ◆ 昨年度に引き続き，無解答率が全国より高い設問が多く，継続した課題に挙げられる。児童質問紙において「自分の考えを書くとき，理由が分かるように気を付けて書いている」という質問に対して，肯定的な回答の割合は，全国に比べてやや低い。

話すこと 聞くこと	◇ スピーチメモを活用することのよさを捉えることは，全国を上回っている【Ｂ１二】。 ◆ 互いの話を聞き，共通点や相違点を整理しながら進行に沿って話し合うことは，全国を大きく下回っている【Ａ１】。
書くこと	◇ 目的や意図に応じて文章全体の構成を考えることは，全国を上回っている【Ｂ２一】。 ◆ 手紙の構成を理解し，後付けを書くことは，全国を下回っている【Ａ２二】。
読むこと	◇ 俳句の情景や表現を捉えて読むことは，全国を上回っている【Ａ４二】。 ◆ 俳句に用いられた語句が表現する様子を捉えることは，全国を大きく下回っている【Ａ４一】。 ◆ 登場人物の相互関係や心情，場面についての描写を捉えることは，全国を下回っている【Ｂ３一】。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	◇ 漢字を読んだり書いたりすることが，昨年度に引き続き，全国を上回っている。 ・「事務室前」【Ａ７（４）】　・「おいてあります」【Ａ７（５）】 ◇ 古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読むことが，全国を上回っている【Ａ６】。
その他	◇ 児童質問紙において，【７７】「文章で解答する問題にどのように解答したか」という質問に対して，「全ての問題で最後まで書こうとした」と回答した児童の割合が昨年度を上回っている(H29 74.9%，H28 73.5%)。また，【６９】「国語の勉強は好きか」（千葉 62.2%，全国 60.5%），【７２】「読書は好きか」（千葉 74.6%，全国 74.3%)の肯定的な回答の割合は，全国よりも高い状態が継続しており，児童の国語に対する意欲がうかがえる。 ◆ 児童質問紙において，【７４】「目的に応じて資料を読み，自分の考えを話したり書いたりしているか」（千葉 66.8%，全国 68.0%），【７６】「自分の考えを，理由が分かるように気を付けて書いているか」（千葉 72.8%，全国 74.8%)という質問に対して，肯定的な回答の割合が全国より低い。また，学校質問紙における，同趣旨の質問（【６６】「…話したり聞いたりする授業を行っていたか」（千葉 90.4%，全国 92.2%），【６７】「…書く習慣を付ける授業を行っていたか」（千葉 89.5%，全国 93.4%））に対しても，肯定的な回答の割合は，全国より低い。教科指導はもとより，日常の活動においても，話したり書いたりする場面を，意図的に設定し，指導することが必要である。

授業アイディア例

国語 TYPE I・II A2

「お礼の手紙を書こう」

～目的や意図に応じ，内容の中心を明確にして書く～

手紙の構成を理解することに課題が見られました。そこで，本アイディア例では，この課題を解決するために，本問を活用し，様々な活動の際にお世話になった方への礼状を書く指導事例を紹介します。なお，本アイディア例は，第５学年以上を対象としています。

課題の見られた問題の概要と結果

A 2　お礼の手紙を書く

A 2 二　正答率 **41.6** %　手紙の後付けに必要な，日付，署名，宛て名のそれぞれの位置について，適切なものを選択する

学習指導要領における領域・内容

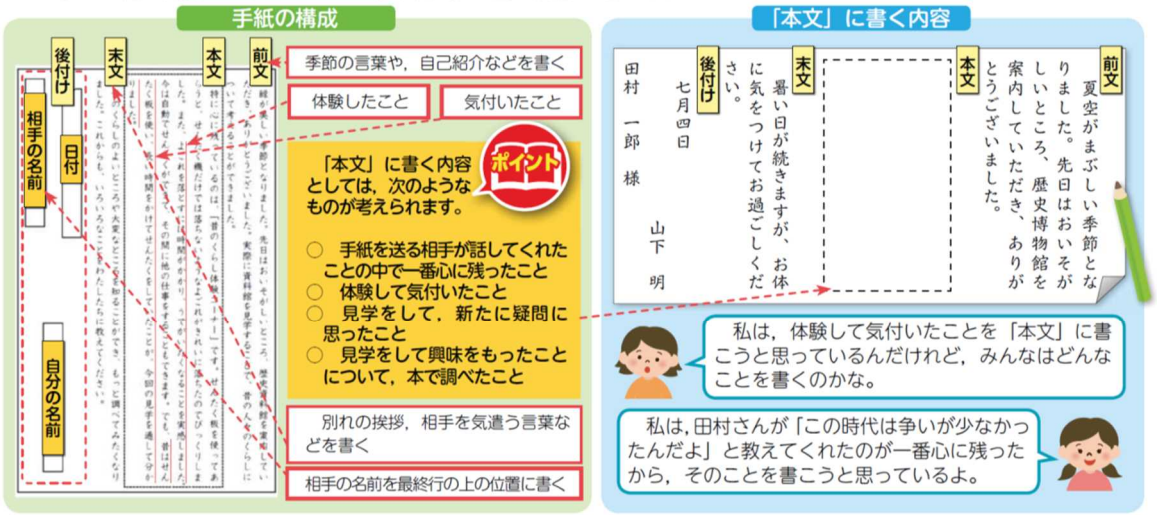
〔第５学年及び第６学年〕 B　イ

授業アイディア例　社会科見学でお世話になった田村さんへお礼の手紙を書こう（全２時間）

他教科等において，施設の見学や体験学習を行った際に本単元を設定します。見学や体験が児童の課題発見及び解決を促すような学習となるようにし，児童自ら「お礼の手紙を書きたい」と思うように，相手に対する感謝の気持ちを高めておくことが大切です。

第１時　手紙の構成を確認し，歴史博物館ガイドの田村さんに送る手紙の内容を考える

■　本問を活用し，手紙の構成と「本文」に書かれている内容を確認した上で，伝えたいことの中心を明確にし，相手にお礼の気持ちが伝わるように，「本文」に書く内容を考える。



第２時　感謝の気持ちが表れるようにお礼の手紙を書く

■　お礼の手紙を書き，友達と読み合って構成や内容について助言し合う。

手紙の構成や内容を吟味したり，形式を整えたりすることが，相手に対する感謝の思いや敬意を表すことにつながるということを指導することが大切です。　ポイント

本授業アイディア例　**活用のポイント！**

- 礼状を送った相手からの言葉を児童に伝えることで，相手を明確にして気持ちを伝えたり，返事をもらったりするという，書いた手紙で交流する楽しさを児童が実感できるようにすることが大切です。
- 手紙を書く学習活動を，国語科のみならず，国語科との関連を図りながら，各教科等に意図的，計画的に設定することが重要です。

参照▶「平成 29 年度　報告書　小学校　国語」P.26～P.29，「平成 29 年度　解説資料　小学校　国語」P. 18～P.21

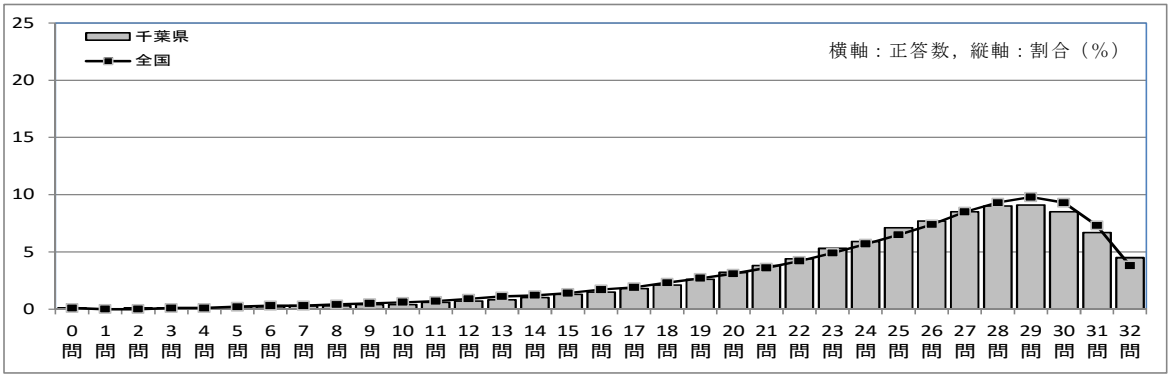
（国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成２９年度　全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイディア例」より）

（２）中学校国語
①　全体的な結果
ア　正答数の分布

＊「Ａ～Ｄ層」について
・各層は全国（公立）の生徒を正答数の大きい順に整列させ，人数比率により 25%刻みで４つの層分けを行っている。上位から１番目をＡ層，２番目をＢ層，３番目をＣ層，４番目をＤ層と呼称する。正答数が同じ場合は，上位の層に含むため，25%を大きく超える場合がある。
・千葉県の人数比率は，全国のＡ～Ｄ層を基準に示してある。

【国語Ａ】

平均正答率は，全国と同程度である。正答数の分布は，全国とほぼ同じである。

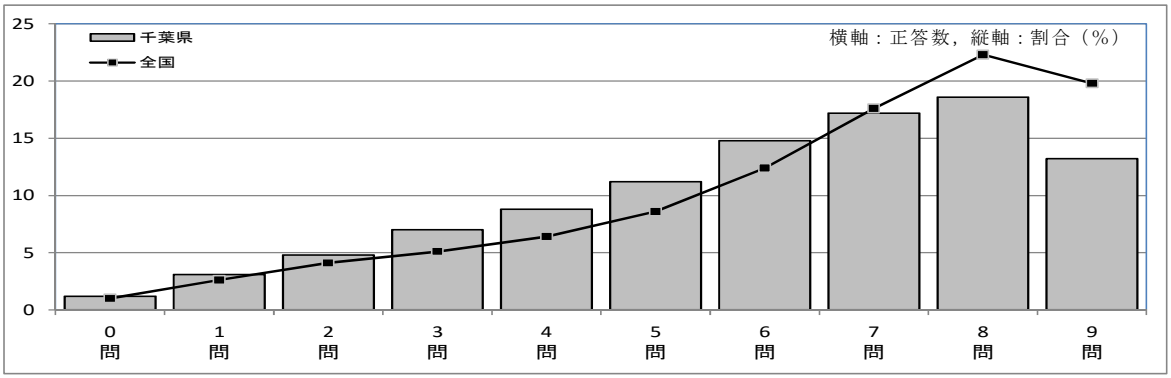


	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
千葉県(公立)	24.4問／32問	76 %	26.0	5.7
全 国(公立)	24.8問／32問	77.4 %	26.0	5.7

	＊Ｄ層 0～21問	＊Ｃ層 22～25問	＊Ｂ層 26～28問	＊Ａ層 29～32問
千葉県(公立)	21.5 %	22.7 %	25.2 %	28.8 %
全 国(公立)	23.4 %	21.2 %	25.2 %	30.2 %

【国語Ｂ】

平均正答率は，全国と同程度である。正答数の分布は，全国と比べてＡ層の割合が低く，Ｃ層，Ｄ層が高くなっている。



	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
千葉県(公立)	6.5問／9問	72 %	7.0	2.2
全 国(公立)	6.5問／9問	72.2 %	7.0	2.3

	＊Ｄ層 0～4問	＊Ｃ層 5～6問	＊Ｂ層 7問	＊Ａ層 8～9問
千葉県(公立)	24.9 %	26.1 %	17.2 %	31.8 %
全 国(公立)	19.2 %	21.1 %	17.6 %	42.2 %

イ　調査区分ごとに見た傾向（全国平均を 100 としたときの指数で示している）

知識／活用

「知識」は，全国をやや下回り，「活用」は，全国と同程度である。

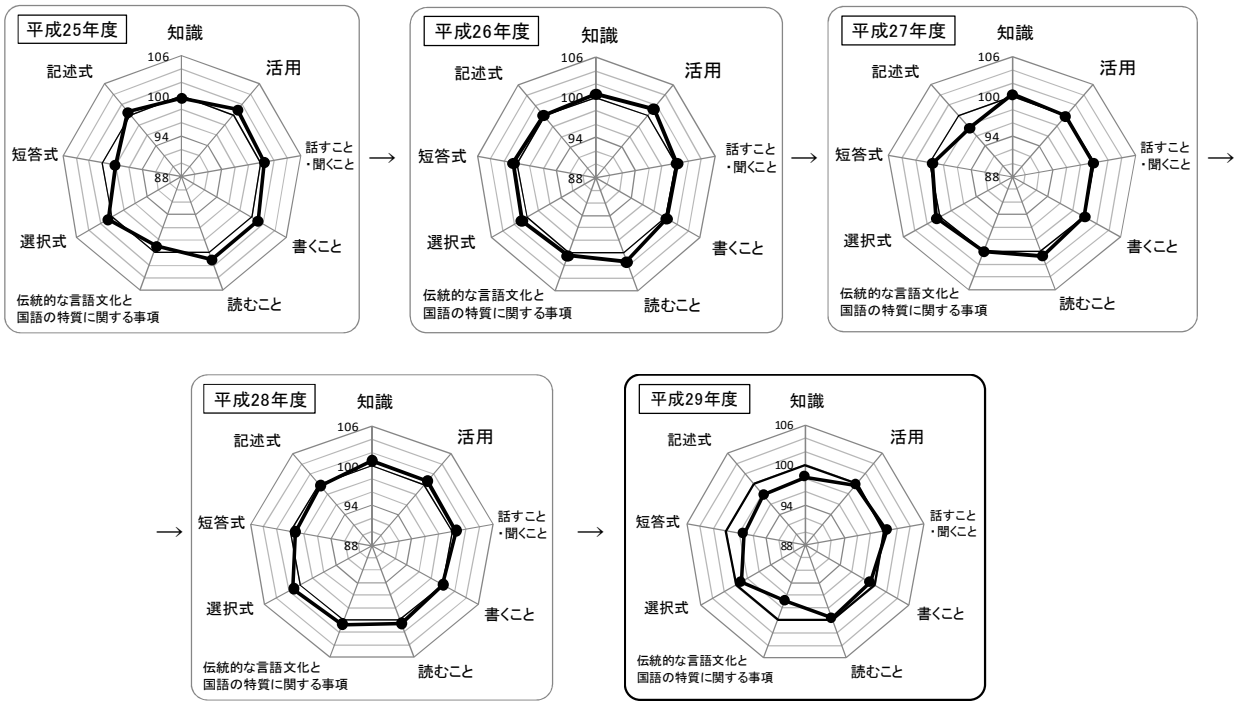
領　域　等

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が全国を下回っている。

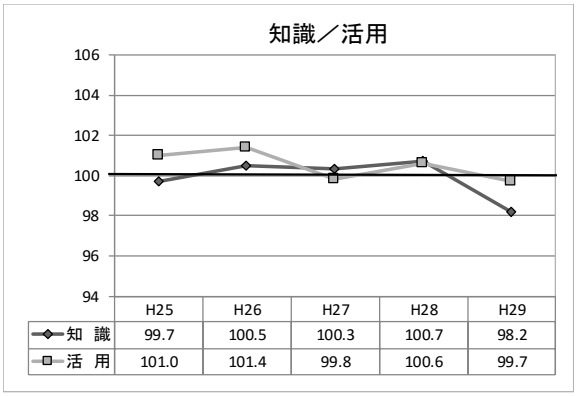
問 題 形 式

「短答式」「記述式」が全国を下回っている。

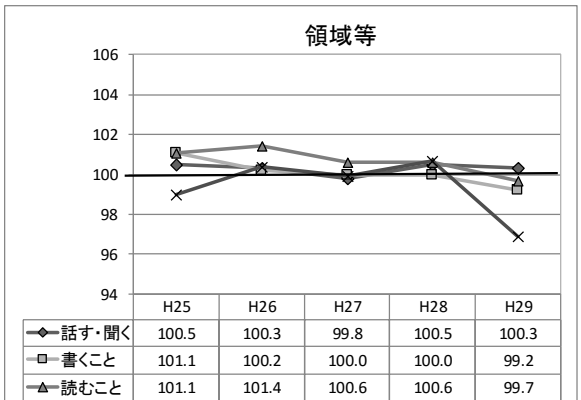
○チャートグラフ



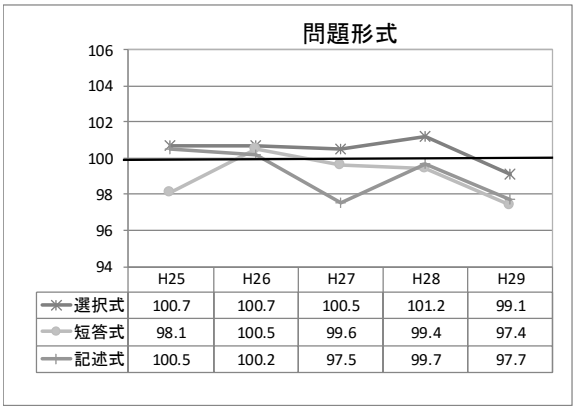
○経年変化グラフ



	H25	H26	H27	H28	H29
知　識	99.7	100.5	100.3	100.7	98.2
活　用	101.0	101.4	99.8	100.6	99.7



	H25	H26	H27	H28	H29
話す・聞く	100.5	100.3	99.8	100.5	100.3
書くこと	101.1	100.2	100.0	100.0	99.2
読むこと	101.1	101.4	100.6	100.6	99.7
伝・国	99.0	100.4	99.9	100.7	96.9



	H25	H26	H27	H28	H29
選択式	100.7	100.7	100.5	101.2	99.1
短答式	98.1	100.5	99.6	99.4	97.4
記述式	100.5	100.2	97.5	99.7	97.7

② 各設問及び質問紙調査に見られる結果と特徴

（凡例）

〔出題の趣旨〕
「課題改善」　過去の調査結果からの課題を踏まえた問題
「同一」　過去の調査と同一の問題
〔領域等〕学習指導要領の領域等
「話」　話すこと・聞くこと　「書」　書くこと　「読」　読むこと
「伝」　伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
〔評価の観点〕
「関」　国語への関心・意欲・態度　「話」　話す・聞く能力
「書」　書く能力　「読」　読む能力
「言」　言語についての知識・理解・技能
〔問題形式〕
「選」　選択式　「短」　短答式　「記」　記述式
〔肯定的回答〕
「当てはまる，どちらかといえば当てはまる」など肯定的な選択肢を選択した割合の合計
〔昨年との差〕
千葉県の今年度（平成29年度）と昨年度（平成28年度）との差を示す

□ 全国を上回るもの
▨ 全国を下回るもの（課題あり）

△：全国との差３．０ポイント以上
▼：全国との差３．０ポイント以下

ア　各設問の結果

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率			無解答率		
									千葉県（公立）	全国との差		千葉県（公立）	全国との差	
A	１	画面に示された字幕についての説明として適切なものを選択する	話し言葉と書き言葉との違いを理解する		伝	２	言	選	80.7	-0.7		0.2	0.1	
	２一	スピーチをより分かりやすくするためにイラストを提示する箇所として適切なものを選択する	目的に応じて資料を効果的に活用して話す		話	２	話	選	87.3	-0.5		0.2	0.1	
	２二	スピーチの構成を説明したものとして適切なものを選択する	事実と考えとの関係に注意し，構成を工夫して話す		話	１	話	選	79.9	0.3		0.3	0.0	
	３一	それまでがんばってきた様子が読み手により伝わるように書き直す	書いた文章を読み返し，語句の使い方を工夫して書く		書	２	書	短	85.2	-0.8		4.2	0.9	
	３二	一文を書き加える際に参考にした助言として適切なものを選択する	書いた文章についての助言を基に，自分の表現を見直す	課題改善	書	２	書	選	83.6	-0.7		0.3	0.1	
				(H26小)					61.1	2.4		0.2	0.2	
	４一	見出しの内容に対するまとめとして適切なものを選択する	文章の要旨を捉える		読	１	読	選	82.1	1.1		0.2	0.0	
	４二	文章について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開，表現の特徴について自分の考えをもつ		読	１	読	選	72.3	-0.6		0.3	0.0	

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率			無解答率		
									千葉県（公立）	全国との差		千葉県（公立）	全国との差	
A	５一	〈立候補者から〉の欄の書き方を説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成を工夫して分かりやすく書く		書	2	書	選	81.3	1.5		0.2	0.0	
	５二	〈推薦者から〉の欄に書き加える具体例に使う情報として適切なものを選択する	目的や意図に応じて材料を集め，自分の考えをまとめる		書	1	書	選	92.6	-0.1		0.2	0.0	
	６一	登場する人物を整理したものに当てはまる人物の組合せとして適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み，内容を理解する	課題改善	読	1	読	選	74.6	-0.2		0.5	0.0	
				(H26小)					66.3	1.0		0.5	0.5	
	６二	「どれもこれも仁王を蔵しているのはなかった」の意味として適切なものを選択する			読	1	読	選	60.3	0.2		0.6	0.1	
	７一	先生から必要な情報をもらうために適した発言に直す	相手に分かりやすいように語句を選択して話す		話	1	話	短	55.2	1.2		6.1	1.0	
	７二	結論にたどり着いた理由として適切なものを選択する	話すための材料を人との交流を通して集める		話	1	話	選	81.5	1.1		0.5	0.1	
	８一	詩について説明したものとして適切なものを選択する	文章の表現の仕方について自分の考えをもつ		読	2	読	選	81.6	-0.3		0.8	0.2	
	８二	二人の交流の様子について説明したものとして適切なものを選択する	文章に表れているものの見方や考え方について，交流を通して自分の考えを広くする	課題改善	読	1	読	選	71.8	-0.5		1.0	0.2	
				(H26小)					47.7	-0.8		21.8	2.0	
	９一１	漢字を書く（組織のキボを大きくする）	文脈に即して漢字を正しく書く		伝	2	言	短	46.9	-15.9	▼	25.6	9.8	▼
	９一２	漢字を書く（雨で運動会がエンキになる）			伝	2	言	短	62.8	0.5		15.2	1.7	
	９一３	漢字を書く(店をイトナむ)			伝	2	言	短	84.2	-1.2		9.9	1.6	
	９二１	漢字を読む(覚悟を決める)	文脈に即して漢字を正しく読む		伝	2	言	短	98.5	-0.2		1.1	0.2	
	９二２	漢字を読む（鮮やかな色合い）			伝	2	言	短	93.7	-0.8		1.0	0.2	

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率			無解答率		
									千葉県（公立）	全国との差		千葉県（公立）	全国との差	
A	９二３	漢字を読む(水が垂れる)	文脈に即して漢字を正しく読む		伝	2	言	短	94.5	0.2		1.3	0.2	
	９三ア	適切な語句を選択する(えりを正して話を聞く)	語句の意味を理解し，文脈の中で適切に使う		伝	1	言	選	68.9	-8.0	▼	1.0	0.3	
	９三イ	適切な語句を選択する（よい結果を早く出したいときは，急がば回れといわれるように，かえって慎重に議論を進めるべきだ）		同一	伝	1	言	選	58.6	-2.8		0.8	0.1	
				(H26)					61.2	2.0		1.0	1.0	
	９三ウ	適切な敬語を選択する（先生もこの書店をよくご利用になるのですね）			伝	2	言	選	85.4	-0.3		0.8	0.1	
	９三エ	適切な語句を選択する（私は映画が大好きです。ただし，映画なら何でも見るわけではありません）			伝	1	言	選	95.1	-0.4		0.7	0.1	
	９三オ	適切な語句を選択する(チームの勝利を確信する)			伝	2	言	選	93.9	-0.3		0.8	0.2	
	９四	言い直した意図として適切なものを選択する	助詞の働きについて理解する		伝	2	言	選	91.3	-0.3		0.9	0.2	
	９五	話合いの記録として適切な言葉を考える	事象や行為などを表す多様な語句について理解する		伝	1	言	短	32.7	-3.1	▼	15.4	2.3	
	９六１	楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する	楷書と行書との違いを理解する		伝	1	言	選	41.4	-8.2	▼	1.3	0.3	
	９六２	行書で書かれた「和」の特徴の組合せとして適切なものを選択する	行書の特徴を理解する		伝	1	言	選	60.9	-2.8		1.4	0.3	
	９七１	「徒然草」の中の語句の訳を抜き出す（あやしう）	古文と現代語訳とを対応させて内容を捉える		伝	2	言	短	75.9	-1.3		5.1	1.2	
	９七２	「徒然草」の作品の種類として適切なものを選択する	古典には様々な種類の作品があることを知る		伝	1	言	選	81.0	2.5		1.6	0.3	

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率			無解答率		
									千葉県（公立）	全国との差		千葉県（公立）	全国との差	
B	１一	本の紹介カードに書かれている登場人物の様子が具体的に表現されている箇所として適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え，内容を理解する		読	2	読	選	84.5	0.4		0.2	0.1	
	１二	地の文にある言葉を発した人物を文章の中から抜き出す	場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み，内容を理解する		読	1	読	短	83.1	-1.0		6.1	0.8	
	１三	比喩を用いた表現に着目し，感じたことや考えたことを書く	表現の仕方について捉え，自分の考えを書く		書・読・伝	1・1・1	関・書・読・言	記	39.9	-1.5		16.0	1.7	
	２一	スピーチの中で実演を行った意図として適切なものを選択する	目的に応じて資料を効果的に活用して話す		話	2	話	選	85.5	0.1		0.2	0.0	
	２二	聞き手が話し手に伝えようとしていることとして適切なものを選択する	話の論理的な構成や展開などに注意して聞く		話	2	話	選	74.8	0.6		0.3	0.0	
	２三	スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す	相手の反応を踏まえながら，事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す		話・書	1・2	関・話・書	記	56.2	-1.4		6.7	0.9	
	３一	下書きについての説明として適切なものを選択する	集めた材料を整理して文章を構成する		書	1	書	選	74.8	-0.5		0.4	0.1	
	３二	太宰治と他の作家との関係を書き直したものとして適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る		読	1	読	選	78.7	0.0		0.5	0.0	
	３三	アンケートをとる対象と質問内容，その質問についての回答を基にした内容を載せることで興味をもってもらえると考えた理由を書く	必要な情報を集めるための見通しをもつ		書	1	関・書	記	67.6	-1.2		8.5	1.1	

中学校・国語【課題の見られた設問の例】

	問題の概要・趣旨	正答率（%）		
			県	差
Ａ９三 ア・イ	語句の意味を理解し，文脈の中で適切に使う	ア	68.9	−8.0
		イ	58.6	−2.8

※「差」は，全国平均との差を示している。

三　最も適切な言葉を、それぞれ次の（　）の**1**から**4**までの中から**一つ**選びなさい。

ア　（**1**　そで　**2**　えり　**3**　むね　**4**　わき）を正して話を聞く。

イ　よい結果を早く出したいときは、（**1**　一事が万事　**2**　論より証拠　**3**　急がば回れ　**4**　光陰矢のごとし）といわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ。

○**ア**の正答は**2**であるが、**3**と解答している生徒の割合は**十五．九％**である。「えりを正す」という慣用句になじみがなく、意味が理解できないものと考えられる。

○**イ**の正答は**3**であるが、**1**と解答している生徒の割合は**十五．六％**、**2**と解答している生徒の割合は**十八．四％**である。「急がば回れ」、「一事が万事」、「論より証拠」ということわざになじみがなく、意味が理解できないものと考えられる。

○ことわざや慣用句の指導については、具体的な使用例を考える学習活動が有効である。その際、語源などを確かめたり、似た意味や反対の意味の言葉を整理したりするよう指導することも効果的である。また、教師が意識的にことわざや慣用句などを用いて話したり、掲示物や配布物に取り入れたりするなど、言語環境を整えることも大切である。

○着目した言葉について複数の類義語で言い換えたり、ことわざや慣用句、故事成語などの表現に置き換えたりすることが大切である。

	問題の概要・趣旨	正答率（%）	
		県	差
Ｂ２三	スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す	56.2	−1.4

三　石井さんは、**【意見2】**を受けて、**【スピーチ】**の――線部「玉を受け止めるときは、今私がやったようにひざを動かすとよいです」を聞き手に分かりやすいように直すことにしました。あなたならどのように直しますか。次の**条件1**と**条件2**にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1　**【本の一部】**を参考にして、**【意見2】**にある「どのようにひざを動かすのか」と「なぜひざを動かすとよいのか」が分かるように書くこと。

条件2　「玉を受け止めるときは、」に続けて、**四十字以上、八十字以内**で書くこと（解答用紙に書かれている書き出しの字数を含みます。）。

【スピーチ】

今日は、けん玉の「大皿」という技を取り上げて、技を上手に決めるコツについて説明します。「大皿」というのは、けん玉の一番大きな皿に玉を乗せる技です。「大皿」はこのように持って行います。まずはどのような技なのか見てください。〈実演〉一回目

「大皿」のコツは二つあります。

一つは、引き上げた玉が落ち始める寸前に、玉の真下に素早く皿を持ってくることです。玉の動きが一瞬静止した状態になるこのタイミングだと玉を捉えやすいので、成功する確率が高くなります。では、やってみます。〈実演〉二回目　少し難しいかもしれませんが、何度か繰り返してやっていると、徐々にタイミングがつかめるようになります。

もう一つのコツはひざをうまく動かすことです。では、ひざの動きに注意して見てください。〈実演〉三回目　始めにひざを曲げます。そしてひざを伸ばしながら玉をまっすぐに引き上げます。玉を受け止めるときのひざの動きも重要です。玉を受け止めるときは、今私がやったようにひざを動かすとよいです。

コツが分かったでしょうか。皆さんも、ぜひ、この二つのことに気を付けながら、「大皿」という技をやってみてください。

〈実演〉

【意見1】

三回目の実演のときは、どこに気を付けて見ればよいのかが分かりやすかったので、二回目の実演のときも同じようにするとよいと思います。

【意見2】

「今私がやったようにひざを動かすとよいです」というところは、どのようにひざを動かすのかが分かりづらかったです。それに、なぜひざを動かすとよいのかについても説明してほしいです。

○「方法や理由を分かりやすく説明してほしい」という**【意見2】**を踏まえて書き直すことができなかった生徒の割合は**十三．九％**である。

○自分の伝えたいことが、聞き手に対して、分かりやすい内容や表現になっているかを考えるとともに、場の状況や聞き手の様子に応じて、話すよう指導する必要がある。その際、話し手と聞き手の両方の立場から検討するなどの学習活動が有効である。

	問題の概要・趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
		県	差	県	差
Ａ９五	事象や行為などを表す多様な語句について理解する	32.7	-3.1	15.4	+2.3

○字数は合っているが、あとでもう一度話し合うという意味ではない熟語を解答した生徒の割合は**四十九．八％**である。「再可決」「考案中」「否決」などと解答した生徒は、言葉としては知っていても、場面や状況に応じて適切に使い分けることができていないと考えられる。

○学校生活の中で具体的な場面を取り上げ、その場の状況に応じた適切な言葉を使うことができるようにすることが必要である。その際、多様な語句や表現の仕方について、辞書を使うなどして調べたり、考えたりする学習活動が有効である。

五　…「活動内容」の「2」については、今回は結論が出なかったので、あとでもう一回話し合うことになりました。［　　］に当てはまる言葉を**漢字三字以内**で書きなさい。

【話し合いの記録】

校内でのあいさつを活発にするための取り組み

活動内容案	結果
1　標語やポスターの募集と掲示を行う。	可決
2　登校時間に校門の前であいさつや呼びかけを行う。	［　　］
3　下校時間に校門の前であいさつや呼びかけを行う。	否決

	問題の概要・趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
		県	差	県	差
Ｂ１三	比喩を用いた表現に着目し，感じたことや考えたことを書く	39.9	-1.5	16.0	+1.7

○感想欄に「誰（何）の／どのような様子か」を明確に書くことができなかった生徒の割合は**八．六％**、心に残った一文の欄に、比喩を含んだ部分を本文から抜き出すことができなかった生徒の割合は**九．二％**である。

○文学的な文章を読んで、印象的な場面や描写を取り上げて、どのような場面か、なぜ印象に残ったかなどを説明するなどして、感じたことや考えたことを交流することが重要である。

○新聞やインターネットの書評、本のポップなどを取り上げ、そこに書かれたものの見方や考え方と自分のものの見方や考え方と対比させて新しい考え方を知ったり、自分の考えを再構築したりする学習活動も有効である。

1　青山さんは、学校図書館で図書委員の生徒が作った**【本の紹介カード】**を見て、実際にその本を読んでみました。次は、そのときに青山さんが見た**【本の紹介カード】**と、青山さんが読んだ**【本の一部】**です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【本の紹介カード】

三　青山さんは、**【本の紹介カード】**にある「比喩を用いた表現」に着目して**【本の一部】**を読み、感じたことや考えたことなどをあとの**【読書の記録】**に書いています。あなたなら**【読書の記録】**の〈心に残った一文〉と〈感想〉にどのようなことを書きますか。次の**条件1**と**条件2**にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1　〈心に残った一文〉は、**【本の一部】**から、比喩を用いた表現が含まれる**一文を抜き出して**書くこと。

条件2　〈感想〉は、**条件1**で取り上げた表現について、「**誰（何）**」の、「**どのような**」様子なのかを明確にした上で、あなたが感じたことや考えたことを具体的に書くこと。

③　成果と課題

全体的な状況	成果	◇ 知識（A問題），活用（B問題）ともに全国と同程度である。 ◇ 「話すこと・聞くこと」の正答率は，昨年度に引き続き全国と同程度である。 ◇ 読書が好きな生徒の割合は，全国より高い状況が続いている。
	課題	◆ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が全国を下回っており，特に「漢字を正しく書くこと」が改善されず，継続した課題である。 ◆ 無解答率が全国より高い設問が増加している。 ◆ 生徒質問紙において「国語が好き」，「授業内容がよく分かる」と回答した生徒は，昨年度と同程度であるが，全国より低い。

話すこと 聞くこと	◇ 相手に分かりやすいように語句を選択して話すこと【Ａ７一】，話すための材料を，人との交流を通して集めること【Ａ７二】は，全国を上回っている。
書くこと	◇ 文章の構成を工夫して，分かりやすく書くことは，全国を上回っている【Ａ５一】。 ◆ 表現の仕方について捉え，自分の考えを書くこと【Ｂ１三】や，必要な情報を集めるための見通しを持つこと【Ｂ３三】は，全国を下回っている。
読むこと	◇ 文章の要旨を捉えることは，全国を上回っている【Ａ４一】。 ◆ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み，内容を理解することは，全国を下回っている【Ｂ１二】。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	◇ 古典（「徒然草」）のジャンルについて理解することは，全国を上回っている【Ａ９七２】。 ◆ 「組織のキボを大きくする」【Ａ９一１】が全国を大きく下回っているなど，漢字を正しく書くことに，継続して課題が見られる。今年度は３問中２問が全国を下回っている。教科指導はもとより，他教科等の学習の中でも同音の漢字や字形が似ている漢字などの間違えやすい漢字について意識させることが大切である。 ◆ 文脈に沿って適切な語を選択する問題「えりを正して話を聞く」【Ａ９三ア】は全国を大きく下回っており，語句の意味を理解し，正しく使うことに課題が見られる。 ◆ 結論が出なかった状況を「再検討（または保留など）」と表記する問題【Ａ９五】は，全国を下回っており，無解答率が全国を上回っている。事例や行為を表す多様な語句について理解することに課題が見られる。学校生活等でのさまざまな事象や行為を表す適切な言葉について，考えたり調べたりするなどの学習活動が有効である。
その他	◇ 学校質問紙における「前年度までの国語科の授業の状況」について，【６７】「書く習慣を付ける授業を行ったか」（千葉95.1%，全国95.7%），【６８】「様々な文章を読む習慣を付ける授業を行ったか」（千葉90.9%，全国90.6%），【６９】「漢字・語句などを定着させる授業を行ったか」（千葉99.0%，全国98.4%）という質問に対しては，どれも９０%以上の学校が肯定的な回答をしており，全国と同程度である。 ◆ 生徒質問紙における「国語の授業」について，【７７】「発表するとき，意見がうまく伝わるように話の組み立てを工夫しているか」（千葉53.0%，全国55.6%），【７８】「考えを書くとき，その理由が分かるように気を付けているか」（千葉63.5%，全国65.9%）という質問に対しては，肯定的解答の割合は全国より低い。「書くこと」の指導については，根拠として取り上げる内容が適切かどうか吟味することや，書く目的を意識して，見通しをもって材料を集めるよう指導することが大切である。

授業アイディア例

国語

TYPE Ⅱ

A9五

「自分が使ってみたい語句についてスピーチをする」

～多様な語句の意味を理解し，場面に応じて適切に使う～

事象や行為などを表す多様な語句について，場面や状況に応じて適切に使うことに課題が見られました。そこで，本アイディア例では，日常生活や社会生活の中で出合った語句に関心をもち，その語句を他の人に紹介する学習を提案します。身の回りにある様々な語句に着目し，その語句の意味を調べたり，どのような場面でどのように使うのかをスピーチを通して紹介し合ったりすることで，多様な語句とその使い方について理解を深めることを狙いとします。

課題の見られた問題の概要と結果

A 9　伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

A 9五　正答率 **36.5** %　話合いの記録として適切な言葉を考える。

学習指導要領における領域・内容

〔第１学年〕伝国(1) イ (ウ)

授業アイディア例

第１時

（授業前の生徒の準備）学校生活の中やテレビの報道，新聞などから，「自分が使ってみたい語句」をノートに書き留めておく。

❶ ノートに書き留めてある「自分が使ってみたい語句」の中から，他の人に紹介する語句を決める。

教師

自分が使ってみたい語句を一つ取り上げ，スピーチをして紹介し合いましょう。取り上げる語句については，辞書などを使って意味を調べることができる語句かどうかを考えて選びましょう。また，実際に語句を使う場面や具体的な使い方も紹介できるようにしましょう。

書き留めてある語句の例

- （学校生活の中から）「承認」，「否認」
- （新聞の見出しから）「激闘」，「歓喜」
- （季節の言葉から）「花あかり」，「うららか」

など

❷ どのような意味をもつ語句なのかを調べ，どのような場面で使うのかについて考える。必要に応じて，似た意味をもつ語句などについても調べる。

「快挙」という語句を取り上げたいな。１組が合唱コンクールで優勝したことを表すのに使えそうだな。本当に使えるかどうか意味を調べて確かめてみよう。ほかにも，似たような意味の語句がありそうなので，調べてみる必要があるな。

〔国語辞典などで調べた語句の例〕

快挙：胸がすくようなすばらしい行為。
痛快：とても愉快なこと。
偉業：立派な仕事。
勝利：戦いに勝つこと。

❸ 語句と使う場面とが合っているかどうかをペアまたはグループで検討する。

似た意味を表す語句でも，場面や状況によってどの語句が適切であるかを検討することが大切です。

「偉業」は，「立派な仕事。」という意味だね。合唱コンクールでの優勝も立派だけど，「偉業」は少し言い過ぎではないかな。

「痛快」は，「とても愉快なこと。」を表すのだね。周りの予想に反しての優勝だから使えないことはないけど，勝って心が晴れやかになったことを考えると，「快挙」の方が適切だと思うな。

第２時

❹ 使う場面や具体的な使い方とともに語句を紹介する。

〔スピーチの例〕

私が紹介する語句は，新聞記事の中で見付けた「快挙」という語句です。「快挙」は「胸がすくようなすばらしい行為。」という意味です。

「あまり目立った活躍がなかった１組が，合唱コンクールで快挙を成し遂げました。」というように使います。「優勝しました」と表現するよりも，勝って心が晴れやかになったことが表現されていると思います。ちょうど今，特別活動で合唱コンクールについて振り返る文章を書いているので，実際に使ってみたいです。

本授業アイディア例　活用のポイント！

- 調べた語句の意味と使う場面とを記載した語彙集を作成する学習活動も考えられる。

参照▶「平成 29 年度　報告書　中学校　国語」 P.54 ～ P.66，「平成 29 年度　解説資料　中学校　国語」 P.44 ～ P.54

（国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成２９年度　全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイディア例」より）